

令和2年度第2回三郷市上水道運営委員会会議録

開催日時 令和2年10月28日(水) 10時00分～11時50分

開催場所 三郷市水道部別棟会議室

出席委員 (10名)

前田雅久委員	戸邊修司委員	山室敏治委員
米たか子委員	吉川淳委員	恩田誠一委員
谷口末子委員	水野美喜子委員	浅賀和雄委員
小島正文委員		

事務局出席者

水道部長	藤丸 譲 司
副部長兼施設課長	大 森 貴 則
業務課長	中 村 剛
施設課長補佐兼給水係長	平 野 崇
施設課主幹兼工務係長	金 子 隆 一
業務課総務係長	白 石 幸 弘
業務課料金係長	馬 場 弘 至
施設課施設係長	宮 城 真 司
業務課総務係主事	屋 敷 優

委員会次第

1. 開会
2. 報告事項 ①
 - 1) 「第3次三郷市水道事業基本計画改定」の進捗状況について
 - 2) 「中央浄水場の概要及び現況」について
3. 中央浄水場 施設見学
4. 報告事項 ②
 - 3) 「中央浄水場の現状と課題」について
 - 4) 「三郷市水道事業災害時支援協力員制度の設立」について
5. その他
6. 閉会

1. 開会

- ・前田委員長 会議に先立ちまして、本日の議事録署名人を谷口委員、浅賀委員の2名にお願いしたいと思います。

2. 報告事項

- ・前田委員長 本日は報告事項が4点ございます。

1) ①「第3次三郷市水道事業基本計画改定」の進捗状況について

②「中央浄水場の概要及び現況」について

- ・前田委員長 はじめに報告事項①及び②について、事務局から報告をお願いします。

- ・総務係長 《 資料に基づき①の報告 》

- ・総務係長 《 資料に基づき②の報告 》

- ・前田委員長 事務局からの報告が終わりましたが、何か質問はございますか。

- ・山室委員 将来の給水人口の見通しについて、質問します。給水人口のピークは令和11年度の147,883人とのことですが、どのような推計結果を使用しているのでしょうか。

- ・総務係長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。給水人口の見通しにつきましては、「令和元年度三郷市版人口ビジョン」の推計結果を使用しております。

- ・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。

- ・戸 邊 委 員 中央浄水場の耐震判断について、質問します。中央浄水場は令和元年度基準で運用開始から52年が経過し、施設の大部分が現行の耐震基準に適合していないとのことですが、耐震基準の変遷について、説明をお願いします。また、施設を現行の耐震基準に適合させる場合、どのような工事が必要となるのでしょうか。
- ・施 設 係 長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。耐震基準は過去の震災被害により、基準が年々厳格化しております。中央浄水場は昭和42年に建設されており、建設当時の耐震基準は満たしておりますが、昭和53年の宮城県沖地震をうけ、その3年後に施行された新耐震基準には、適合しておりません。仮に、中央浄水場を現行の耐震基準に適合させる場合、構造物を作り直すか、施設の脆弱な部分を重点的に補強するといった工事が想定されます。
- ・戸 邊 委 員 仮に中央浄水場を現行の耐震基準に適合させる場合には、どれくらいの工事費用が見込まれるのでしょうか。また、現在の余剰金で工事を実施することは可能なのでしょうか。
- ・水 道 部 長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。中央浄水場を継続して使用する場合に必要となる耐震化工事や浸水対策工事費用としては、あわせて40億円程度と見込んでおります。余剰金につきましては、今後高い確率で発生が予想される大規模災害によって、給水収益が停止した場合においても、事業を継続し施設を復旧するための財源と考えております。そのため、仮に中央浄水場の更新を実施する場合には、別の財源が必要となります。
- ・前 田 委 員 長 よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・恩 田 委 員 中央浄水場の現在の運用状況について、質問します。一日あたりの各浄水場の取水量及び県水の受水量を比較すると、中央浄水場の占める役割は限定的と見ることができます。そこで、総配水量に占める中央浄水場の割合についても、説明をお願いします。また、中央浄水場を含めた各水道施設の運用状況について、あわせて説明をお願いします。
- ・施 設 係 長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。令和元年度における実績では、総配水量15,620,270 m³のうち、中央浄水場の配水量は1,300,140 m³となっており、占める割合としては8.3%となっております。施設の運用につきましては、令和元年度に北部第二配水場の更新工事が完了したことで、北

部浄水場と北部第二配水場で合わせて 8 台のポンプが運用可能となっており、この二施設の配水能力には、まだ余力がございます。現在、中央浄水場は、この二施設の補完的な運用を行っており、朝夕などの使用水量の増加が見込まれる時間帯に、配水を行っております。

2) ③「中央浄水場の現状と課題」について

・前田委員長 続きまして報告事項③について、事務局から報告をお願いします。

・業務課長 《 資料に基づき③の報告 》

・前田委員長 事務局からの報告が終わりましたが、何か質問や意見などはございますか。

・山室委員 中央浄水場の課題について、私の意見を述べさせていただきます。施設の耐震化だけでなく、河川の浸水対策など、多角的に災害のリスクが分析されていると思います。これに加えて、地下水の利用にあたり地盤沈下についても、十分に検討を行ってほしいと思います。南部の戸ヶ崎地区においては、過去の簡易水道により、大きな地盤沈下があったと記録されております。中央浄水場の課題としては、災害対策の側面に加え、限られた資源の持続的な利用と、周辺環境への影響にも十分に考慮するよう、よろしくお願いします。

・水道部長 貴重なご意見をありがとうございます。現在、地下水の汲みあげにつきましては、県とも調整を行いながら、周辺への影響を最小限に抑えるよう細心の注意を払っております。しかしながら山室委員のご指摘のとおり、地盤沈下などへの懸念により、今後新たに井戸を掘ることは非常に困難となっております。現在市が有する取水施設と限りある水資源、並びに周辺地域への影響を十分に考慮しながら、今後の事業計画を検討してまいります。

・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。

・恩田委員 災害時の中央浄水場の役割について、質問します。先ほどの説明より、総配水量に占める中央浄水場の割合は比較的小さく、補完的な運用を行っているとありますが、中央浄水場の災害時の有用性についても、説明をお願い

します。あわせて、施設の耐震化及び浸水対策工事に40億円程度が見込まれるとのことでしたが、限られた財源を用いて効果的に災害対策を実施していくうえで、中央浄水場の優先度については、どのように考えていますか。

・水道部長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。災害や事故などによる県水の受水停止を想定した場合、市独自の水源と浄水能力を確保することは、たいへん有用であると考えております。一方で、限られた財源のなかで、より効果的に災害対策を推進するためには、管路の耐震化など、より喫緊かつ市全域の利益に直結する事業があると考えております。

・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。

・水道部長 先ほど戸邊委員からいただいた、余剰金に関する質問について、補足をさせていただきます。現状の余剰金は、年間の事業費をやや下回る金額となっており、現行の基本計画では、令和7年には底を付く見通しとなっております。現在、基本計画の改定において新たな財政計画を作成しており、今後の財政状況の見通しが立ちましたら、改めて委員のみなさまにご報告をさせていただきます。

3) ④「三郷市水道事業災害時支援協力員制度の設立」について

・前田委員長 続きまして報告事項④について、事務局から報告をお願いします。

・総務係長 《 資料に基づき④の報告 》

3. その他

・前田委員長 その他のことで、何か質問はございますか。

・恩田委員 新型コロナウイルス感染症にかかる経済情勢を踏まえ、2か月分の基本料金の減免が実施されました。このことについて、市民の声などは寄せられていますか。

- ・料 金 係 長 ただ今頂いた質問について、回答いたします。基本料金の減免により、検針票の内容などについて問合せを頂いており、その際に今回の基本料金減免の対応を知ったお客様も多くいらっしゃり、複数の感謝の声を頂いております。
- ・前田委員長 よろしいでしょうか、他にございませんか。
- ・前田委員長 それでは、これをもちまして議事等を終了させていただきます。委員の皆様にはご協力ありがとうございました。
進行を事務局にお返しします。

4. 閉会

署名委員 谷口末子



署名委員 浅賀和雄

